



8月の野菜研

あおもりの未来
技術でサポート

令和2年9月1日
地方独立行政法人青森県産業技術センター 野菜研究所

8月に研究所内で行った行事、作業等について簡単に紹介します。

ナガイモ栽培における最先端機械の実演会

8月26日に野菜研ほ場において、県農産園芸課主催の「ナガイモ栽培における最先端機械の実演会」が開催され、県、農協、市町村、機械メーカー、青森産技の関係者83名が出席しました。実演会では、栽培部の齋藤研究員が「ナガイモの機械化栽培技術実証試験」について昨年度の結果を説明しました。その後、ナガイモ栽培の一連の作業(トレンチャー耕、植付、マルチ、支柱抜き、収穫)について、それぞれ最先端機械を用いた実演が行われました。



実証結果を報告する齋藤研究員
最先端機械を導入し植付や収穫の作業時間が大幅に削減されたことを報告。



植付作業の実演(模擬)



収穫作業の実演(模擬)

第1回成績・設計検討会 (冬作物関係)

8月28日に大会議室において第1回成績・設計検討会を開催しました。県や農協等の関係者を含め36名が出席しました。また、今回は新型コロナウイルス対策として密を避けるため、大会議室と農林総合研究所をオンラインでつなぎ、青森産技の参加者7名はリモートで会議に参加しました。検討会では、各部からニンニクなどの冬作物関係の成績概要や来年度の設計について発表、議論がなされました。主な課題として、ニンニクの新系統の試験結果が検討され、黒石A系統よりも優れた形質のあることが報告されました。また、野菜で利用拡大が望まれているドローンによる病害虫防除について、ニンニクでの散布試験の結果が検討され、ネギコガで防除効果があったことや、ブームスプレーや散布に比べ散布時間が大幅に短縮できることが報告されました。

連絡先:野菜研究所

Tel 0176-53-7171 Fax 0176-53-8934

Email nou_yasai@aomori-itc.or.jp